

平成26年度 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦評

2014年6月8日(日)		会場：富山県西部体育センター						
男子 試合No 特4		決勝戦						
勝チーム 富山商業	74	<table border="1"> <tr><td>27-7</td></tr> <tr><td>22-14</td></tr> <tr><td>14-17</td></tr> <tr><td>11-26</td></tr> <tr><td>-</td></tr> </table>	27-7	22-14	14-17	11-26	-	64 負チーム 高岡第一
27-7								
22-14								
14-17								
11-26								
-								
戦 評								
<p>決勝戦は春季大会と同じ、富山商業と高岡第一の対戦となった。第1ピリオド、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。序盤固さの目立つ高岡第一に対して富山商業は⑤のレイアップシュートや⑫のリバウンドシュートで得点を重ねる。その後、高岡第一は④の3Pで応戦するが、富山商業⑫の3Pやジャンプシュートなど、3連続得点で差を広げる。高岡第一は富山商業の固いディフェンスから攻撃に活路が見いだせない。富山商業は、⑩が落ち着いてゲームをコントロールし、27-7の富山商業20点リードで終えた。第2ピリオド、点差を縮めたい高岡第一は⑤や④の得点などで加点。富山商業は⑪の3Pや⑩のジャンプシュートで応戦。流れをつかみたい高岡第一は3分でTOを取る。その後もインサイド攻撃を封じられた高岡第一は⑨の3Pで得点するが、アウトサイド攻撃が単発でリズムに乗れない。その後、双方得点を重ねるが、富山商業はポイントガードの⑩のテンポの良いパスが良いリズムのシュートを生み、力みのないシュートタッチで得点し、富山商業が28点の大量リードで前半を終了した。</p> <p>第3ピリオド、高岡第一がオールコートで2-2-1からのマッチアップゾーンプレスが機能し、富山商業が思うように攻撃ができない。攻めあぐむ富山商業に対して、高岡第一は⑧、⑦、⑩の得点、攻めのリズムが出てきたときに、富山商業の厳しいディフェンスでターンオーバーがおり、後半4分で高岡第一がTOを取る。その後も、高岡第一がオールコートでプレッシャーをかけ、⑧、⑩のシュートで必死の反撃を試みるが、富山商業は要所で⑦、④の3Pが決まり、第3ピリオド終了で63-38の25点差で最終ピリオドをむかえる。第4ピリオド、さらにオールコートプレスで粘り強くディフェンスをし、富山商業のミスを誘う。④、⑦の連続得点で18点差となり、富山商業が開始早々TOをとる。その後、双方とも決勝戦にふさわしい攻防が随所に見られた。高岡第一は最後まで驚異的な粘りと頑張り、最後まで富山商業を追い詰めたが、前半の得点差があまりにも大きく、富山商業は3年ぶり15回目の優勝となった。</p>								
記録者：向井 幹雄		所 属：富山県高体連専門部						
主 審：濱住 知明		副 審：竹田 淳 山本 達也						